

週刊 女川湾海況速報 (No.18)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

11 月 12 日から 16 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して、水温は下降傾向。鉛直的にはほぼ一様。海面冷却の影響と推定。塩分も先週と比較してやや下降。経時的には 12 日に表層 (0m) 近くで顕著な下降。降雨の影響と推定。

水深 [m]	11月12日 (月)	11月13日 (火)	11月14日 (水)	11月15日 (木)	11月16日 (金)
0	16.5 (31.8)	16.8 (33.3)	16.7 (33.4)	16.5 (33.4)	16.2 (33.3)
6	16.9 (33.0)	16.9 (33.4)	16.7 (33.4)	16.5 (33.5)	16.2 (33.4)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位はパーミル (千分率)。1 パーミル = 1PSU (実用塩分単位)。
*13 日は水深 5m のデータを使用。

②濁度：先週と同程度の値。経時的には 14 日に表層近くで、12 日と 15 日には底層 (6m) 近くで顕著な上昇。

水深 [m]	11月12日 (月)	11月13日 (火)	11月14日 (水)	11月15日 (木)	11月16日 (金)
0	1.7	1.3	2.2	1.4	1.2
6	3.9	2.0	1.4	3.1	1.3

(単位は FTU)

③溶存酸素：先週と比較して、上昇傾向。7~8mg/l 台を維持。経時的には 14 日に全層で上昇、底層近くで特に高い値 (> 8mg/l)。

水深 [m]	11月12日 (月)	11月13日 (火)	11月14日 (水)	11月15日 (木)	11月16日 (金)
0	7.8	7.4	7.6	7.2	7.4
6	7.4	7.2	8.2	7.2	7.3

単位は mg/l。水産用水基準 (水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値) : 4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はともに水深とともに上昇傾向。濁度は 1.2~5.9FTU、表層と底層 (20m) で特に高い値。溶存酸素は 7.0~7.6mg/l。鉛直的には水深 15m 以深で急な下降、底層 (20m) で最小。

11 月 14 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [パーミル]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	16.7	33.4	5.9	7.4
5	16.8	33.4	1.2	7.5
10	16.7	33.4	1.2	7.6
15	16.9	33.5	1.3	7.5
20	17.0	33.6	2.7	7.0

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室
Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。